

# 第12回 かごしま女性医療フォーラム

“女性のカラダ「生」と「性」をテーマに、医療や健康に関する情報を発信する「かごしま女性医療フォーラム」。  
ピンクリボン月間に合わせて、10月4日(日)に城山観光ホテルエメラルドホールで開催された同イベントには、  
約800人の参加者が集結しました。ここでは多彩なステージやブースの様子をご紹介します。

◆主催：かごしま女性医療フォーラム実行委員会 ◆主管：特定非営利活動法人 あなただけの乳がんではなく



①「乳がん検診に卒業はない」と年1回の受診を呼びかけた川野純子医師②呼吸に合わせて動く心地良さを体感したメディカルヨガ③愛犬との朝晩の散歩や“ながら柔軟”が美と健康の秘訣だと語った黒田知永子さん④マンモグラフィ検診車による乳がん検診も実施された「NPO法人あなただけの乳がんではなく」がメッセージを集めたピンクリボンツリー

## 第1部 専門家が教える医療・健康情報

### ● 知っておきたい！ 乳がんのこと

相良病院乳腺科医師の川野純子さんが、乳がんの動向について講演。欧米では減少傾向にある乳がんの死亡率が日本では増えていることや、発症年齢のピークは50代であるものの、80代でも乳がんにかかる人がいることなどを紹介し、年1回の乳がん検診と自己触診の必要性を訴えました。

### ● メディカルヨガ～“わたし”とつながる呼吸法～

メディカルフィットネス ウェルライフ講師の英代さんが、ヨガが心身に与えるメリットなどについて講演。病後やケガのリハビリにも用いられているというメディカルヨガが乳がんに関するエビデンスも交えながら紹介し、代表的なヨガの呼吸法も参加者に分かりやすくレクチャーしました。

## 第2部 あなたに届けたい、輝き続けるヒント

### ● 黒田知永子トークショー

人気ファッション誌の表紙キャラクターを務めるモデルの黒田知永子さんが登場。結婚・出産を経て34歳でモデルに復帰したという自らのキャリアや今季のファッションのトレンド、日常生活で実践している美容法などについて語りました。また、「乳がんはひとごとではない」と、毎年誕生日に乳がん検診を受けていることを明かし、「充実した日々を送れるのも健康あってこそ」と参加者に検診を呼びかけました。

## 健康と美容の知識を深める 体験&情報発信ブースが集結

①健康茶・ボトリングティーの試飲を行った「下堂園」②「バイオイル」は乳がんの手術後や日常のスキンケアを紹介③美容ケアを体験できる「AMU's Beauty」ブースも人気を集めた④「大塚製薬」は大塚由来の成分・エクオールセミナーを実施⑤限定スイーツをお披露目した「城山観光ホテル」⑥「桃谷順天館」はピンクリボンハンドクリームによる啓発活動を展開⑦女性が刊を作った「セイコメディカルクリニック」の美容カウンセリング⑧頭皮チェックが好評だった「スヴェンソン」⑨触診モデルを使用した自己触診コーナーも注目を集めた⑩おしゃれなパッケージの黒酢商品が並んだ「Kurozu Farm」⑪「鹿児島銀行 個人プラザ かげんWELL」は出張ブースを開設⑫乳腺科・婦人科・甲状腺科の看護師による相談コーナーは「相良病院」が実施

# THINK PINK 2015 FUNDRAISING PARTY

人気タレントの入院・手術報道でこの秋話題になった乳がん。ここ鹿児島では乳がんを考えるイベントが毎年2日間にわたり開催されています。  
10月3日(土)に城山観光ホテルロイヤルガーデンで行われた「THINK PINK」は、有志が企画したファンレイジングパーティー。  
279人が集った一夜のプログラムをLEAPがレポートしました。

◆主催：THINK PINK 2015 実行委員会



①トークセッション「がんと就労」。治療後に再び仕事ができること、応援してくれる人がいることは、がんサバイバーにとって光であり、希望であると訴えた②シルキーな歌声で会場を包んだたなかりかとリリカルで美しい音色を響かせた松本圭使③会場コーディネートもピンク色!④洋と和が融合した料理にはピンクをイメージした特別な一曲も

## ● THINK PINKが目指すもの

日本人女性の12人に1人が乳がんにかかるいま、乳がんサバイバーが抱える課題は多くの女性の課題であり、男性の課題でもあり、家庭、職場、社会の理解と支援が必要とされています。THINK PINKは乳がんサバイバーが勇気と希望を持って生きることの大切さを参加者が知り、その思いを分かち合う場です。誰もが勇気と希望を育めるように、社会を良くする活動“ソーシャルグッド”として、思いを共有し、成長していくことを目指しています。

## ● トークセッション「がんと就労」

働く世代が、がんにかかった時、必ずと言っていいほど直面するのが「これから仕事をどうするか」という就労の問題です。そこで今回は「がんと就労」をテーマに、乳がん罹患した女性を同じ企業で働く仲間や経営者が助し支え、復職できるように支援した実話をトークセッション形式で披露。株式会社プロゴス代表取締役の和田秀一郎さん、管理部グループリーダーの堂下やよいさん、MBC南日本放送アナウンサーの上野知子さんが登場し、それぞれの体験を交えながら、ともに支え合う職場環境づくりの大切さを訴えました。

## ● たなかりかwith松本圭使LIVE

食事と談話のひとときをより華やかに彩ったのは、ボーカリストたなかりかと鹿児島在住のピアニスト松本圭使によるジャズライブ。大ホールでは決して味わうことのできないミュージシャンの息づかいや洗練された音色とスペシャルな選曲に会場中が酔いしました。

## 参加者と協賛企業による チャリティーを実現

THINK PINKでは乳がんサバイバーの支援というミッションに賛同する企業の協賛を募り、ラッフル(くじ)やサイレントオークションによるファンレイジング(資金調達)を行っています。会場内で販売された300枚のラッフルはあっという間に完売。約80点の景品が並んだ抽選会は会場を沸かせました。また、ピンクの装いでパーティーに華を添えた参加者の中から男女各1人のベストレッサーが決定。参加者全員にはお土産としてOPINAILラッカーセットと真空米が贈られました。THINK PINK 2015に寄せられた総額約130万円の寄付金は、乳がんサバイバーを支援する「NPO法人あなただけの乳がんではなく」の活動に活用されます。